

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: イーストアングリア大学 現地言語: university of east anglia
留学期間	2017年9月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	法学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年12月28日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月下旬 2学期:1月中旬～3月下旬 3学期:4月下旬～6月下旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15000
創立年	1963年

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	1400	200000円	週109ポンド
食費	1000	150000円	
図書費	0	0円	授業で電子資料が配られ、図書館が充実している
学用品費	100	15000円	パソコンがあれば基本的に問題なし
教養娯楽費	500	75000円	
被服費	500	75000円	
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	250	37000円	マイルで大半を支払いました
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	3750	552000円	

渡航関連

渡航経路:ブリュッセル

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	37370
復路	0
合計	37370 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ANA を使用。ガイドブックなどは特になし。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学のホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

もしイギリスの文化などを知りたいなら絶対におすすめです。その地の文化は現地の人々と暮らさないとわからないので。しかし、仲良くなれるかは運次第です。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談窓口は何種類もあった。しかし利用する機会がなかった

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

寮の周りのイギリス人をまねて最低限のことをした。事件に巻き込まれることはなかった

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi はとても遅くて、イギリス人ですらよく文句を言っていた。しかし、普通に使用する分には問題なし。学校外でインターネットを使えるようにする必要があるので、海外 SIM、wifi などを用意した方がよさそうです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードで日本の銀行口座から引き出していた。あとはクレジットカード。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

電子辞書

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
保険業界を中心に、不動産や証券も見ています
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
本当に自分がしたいことをすればいいと思った。留学をしたことで、将来どういう生活をしたのかが逆にわからなくなった。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
company law	会社法
科目設置学部・研究科	law
履修期間	1 semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Viviana Mollica
授業内容	イギリスの会社法について
試験・課題など	試験はなし。2500語のレポートが評価対象
感想を自由記入	イギリスの法律や文化についてのバックグラウンドがなかったので一番大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
legal method, skills and reasoning		リーガルメソッド、スキル、リーズニング	
科目設置学部・研究科	law		
履修期間	1 semester		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Angelika Reichstein		
授業内容	法律に関する基礎知識や、基本的な判例について		
試験・課題など	試験はなし。2000 語のレポートが評価対象		
感想を自由記入	一年生がとる授業だったので、みな法律を学び始めたばかりで、授業についていきやすかった		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
higher advanced english		英語	
科目設置学部・研究科	language		
履修期間	1 semester		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数制クラス(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Philip Harris		
授業内容	英語の 4 技能を伸ばす		
試験・課題など	授業ごとの課題、および学期末に実力試験		
感想を自由記入	ためにはなりました。けれど、専門科目の法律の授業を代わりにとってもいいかなと思いました。		

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	特になし
4月～7月	留学に行くことを前提とした単位数の取得、および GPA 維持
8月～9月	留学志望先の語学要件である IELTS の勉強、取得
10月～12月	協定留学の申し込み、および明治大学内での選考
2017年 1月～3月	明治大学内での選考を終え、留学先大学からの決定を待つ
4月～7月	留学先の大学への様々な申し込み、ビザ取得など
8月～9月	留学にむけた最終準備
10月～12月	留学.
2018年 1月～3月	1月に期末課題の提出
4月～7月	なし
8月～9月	なし
10月～12月	なし

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生になるまで、もともと勉強に対してあまりやる気がありませんでした。しかしサッカーに興味を持ってから英語に対してやる気が起き、それが全ての科目への熱へと変わっていきました。今の自分があるのも、英語を勉強することが好きになれたからです。その英語をさらに向上させたいと思い、留学を決めました。また、1人で何かに挑戦することで自分が人として成長できる場が欲しいと思ったことも大きな理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	皆さんが何に重きを置くかによります。例えば勉強だけがしっかりできればよいと考える人は、アカデミックな単語を学ぶことが一番大切だと思います。最初の方は専門用語の英語にかなり苦労すると思います。しかし、イギリスでの生活の楽しみたいと考えている人は、何よりも日常的な単語を学ぶことを一番おすすめします。私たちが勉強する英語は英検やTOEIC、TOEFLなどアカデミックな単語ばかりです。しかしこれらの単語は日常生活の中では出てきません。一日の中で日常的な単語に接する頻度は、アカデミックなものとは比べ物になりません。だからこそ、これらの単語を学ぶことを強くお勧めします。
この留学先を選んだ理由	まず留学生の受け入れ態勢が整っていたことです。日本にいてわかることはあまり多くないので、私はホームページの充実度で決めました。つまり、留学生に対するホームページの充実度や見易さを比べることで、どの大学が留学生を受け入れる体制が整っているかを比べた結果、一番整っていました。そして、その大学がある地域です。私は留學生活を中心にしたいと思ったため、都市部よりも田舎が良いと考えました。そして、この大学の場合、街が大学都市のようになっているため、田舎だけど生活に困らないという最高の環境でした。
大学・学生の雰囲気	周りに緑が多く、大学内の敷地はとても広いです。時間の流れがゆっくりとしている雰囲気のある大学で、学生たちの様子も同じようでした。東京の大学に通っているとどこか忙しさ、落ち着かなさを感じますが、その感覚とは真逆の雰囲気でした。また、日本人はとても礼儀正しいと言いますが、イギリスの方が確実に礼儀正しいと思います。それは学生同士を比べても確実に言えることです。ドアの出入りでは譲り合いが常に基本です。日本ではみな急いでいることもあり、ほぼ数秒差の早い者勝ちです。
寮の雰囲気	寮では頻りにフラットパーティーが開かれていました。みんなで共用の廊下に集まり、音楽を流しながら地べたに座って話しました。たまにカードゲームで遊んだりもしました。クリスマスには全員でクリスマス料理を作り、みんなで食べました。友達を作るのも、イギリス文化を体感するのも、最高の場所だと思います。
交友関係	最初は彼らの話していることがまったくわからず、かなり苦労しましたが、寮のメンバーの一人が特に自分のことを気に入ってくれたので、かなりすぐ仲良くなることができました。何か集まるときにはかならず参加し、仲良くなりたいという意思表示を常に続けたことも大きいと思います。寮の友達となると、やはり毎日毎時間を共にするため、最終的には家族のような存在に感じました。他にも、日本語を勉強している生徒と仲良くなったりしましたが、寮での仲間がやはり一番だと思います。
困ったこと、大変だったこと	まず、彼らの英語が最初は本当にわかりませんでした。イギリス人グループに入ったこともあり、英語がそもそも早く、スラングも多かったです。また単語がわかったとしても会話の内容自体がわからないということもたくさんありました。なので、話す以前にまず会話を理解するのがとても大変でした。そして次が、授業内でのディスカッションです。これもかなり大変でした。イギリスでの文化やバックグラウンドがないため、全く意見を言うことができず、ついていくのがやっとという状況でした。
学習内容・勉強について	私は法律を専攻していました。受けていた授業は、会社法と、イギリス法全般の基礎についての授業でした。最初の方は、大まかな内容を理解できるだけで、細かい部分は全く理解できませんでした。しかし、授業がそれでは困ってしまうので、専門用語の勉強や、BBCを利用したリスニングの勉強など、自分の部屋ですら常に英語に触れている環境を作り出すことで、徐々に慣れていき、最終的には理解できるようになりました。

課題・試験について	課題という形で出るものはあまりありませんでした。しかし、セミナーの準備が必須となっており、それが一番大変でした。一回のセミナーの準備に丸一日かかることもありました。また、授業内容を完璧に理解するためにも、毎回の授業の復習は必須と考えたため、授業でのスライドすべての復習を行いました。この復習のおかげで、授業の理解がかなり進み、セミナーの準備にもつながりました。
大学外の活動について	なし
留学を志す人へ	何事も最初が肝心だと思いました。やはり第一印象は良い意味でも悪い意味でも残ってしまうものです。たとえば、自分から全然話そうとしなければ、相手は話す気がないのだと考えます。自分の中では英語がうまく話せないからだと思っても、相手にはそう伝わらないのです。だからこそ、留学が始まる前も、留学中も、常にそのことを頭に入れ、行ってよかったと思えるような、楽しく、かつ実のある留学を目指してください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中					授業		街などを散策
	授業	勉強	授業	授業	授業	ゆっくり	街などを散策
午後	授業	授業	勉強	授業	勉強	ジム	街などを散策
	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	街などを散策
夕刻	勉強	サッカー	勉強	サッカー	勉強	勉強	街などを散策
夜	勉強	寮での交流会	勉強	勉強	寮での交流会	寮での交流会	街などを散策



